

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292500178		
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート南流山 (1階)		
所在地	千葉県流山市大字木312		
自己評価作成日	平成30年1月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成30年1月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>平成26年4月に開設し、平成27年12月よりユニット2を開設、平成29年5月に満床となる。前任者より引き継ぐ「わ」を紡ぎ繋げますをコンセプトに、いつも笑顔があり、その方らしさを大切に、安心で安全で地域と繋がり、ご家族や馴染みの方と一緒に健やかな暮らしが出来る施設を目指しております。夏と冬にお客様ご家族も呼びびた「納涼祭」や「クリスマス会」などを開催し、ご家族や入居頂いているご家族間の交流も図りました。また外出行事を企画し、社会との接点も保つことを実施しました。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>利用者も満床になり、各ユニット利用者の笑顔も多く、職員との関係も良好であり、馴染みの関係が築かれています。今年度実施した納涼祭やクリスマス会においては、利用者及び家族数の増加もあり、駅前のホールを貸し切り実施しています。両行事共に多くの家族の参加があり盛大に実施することができ、利用者、家族が貴重な時間を過ごすことができました。また、開設4年目を迎える中で、地域とのつながりも徐々に強くなり、民生委員から地域情報を収集することもでき、今年度は地域の総合防災訓練への参加や小学校の運動会の見学などにも出かけることができ、地域との交流も年々充実しています。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「わ」を紡ぎ繋がります。という理念を策定し、拠点会議を通じてスタッフと共有し、常に実践するための具体的な行動を話し合っています。	会社の社是、心得、経営理念の揭示のほか、「わ」を紡ぎ繋がりますをホームのスローガンに掲げ、5つの輪を大切に支援の実践に向け、職員間で共有し取り組むことができています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区の小学校の運動会の見学に出掛け、一部の児童さんとの交流を行いました。今後は地域の総合防災訓練や職業体験の場などとして交流をはかっていきます。	民生委員の方が自治会の役員を務めていることもあり、地域の情報を収集することができ、地域の総合防災訓練の参加につなげています。小学校の運動会の見学などにも出かけ、多くの方と交流できるように努めています。	地域関係者との交流もあり、知池行事への参加も増えてきていますが、今後に向けてもこれまで築いてきた地域との連携を活かし、より充実した交流が図られることを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護相談といった部分でのお問い合わせを頂いています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所、地域包括支援センター、民生委員、提携医療関係者、ご家族の参加を頂き、助言を頂いています。事故が発生した際の報告や対応に関しては評価を頂いています。	会議には民生委員、家族代表者、市の介護保険課と地域包括支援センターについては交互の参加を受け、利用者やホームの現状報告のほか、参加者との意見交換を通じてサービス向上に繋がっていきように努めています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の報告が主になりますが、助言を頂いたりして、関係構築に取り組んでいます。他の地域からご家族の元に転居してきて当施設に入居する際など、市役所へ相談している。	市の介護保険課の担当者もホームの運営推進会議に地域包括支援センターと交互に参加しておりホームの状況や課題等を共有することができます。また、運営上相談事が生じた際にも市へ連絡を入れ指示を仰いでいます。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	採用時のオリエンや毎年の研修計画に入れスタッフに説明しています。玄関の施錠は行っていますが、それ以外は当事業所においては実施例はありません。	ホーム内部で身体拘束廃止や虐待防止についての研修を実施し、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいます。現状ホーム内では身体拘束につながる事例は発生していません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	採用時のオリエン及び毎年の研修計画に入れ④スタッフに説明しています。		

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今年度は未実施ですが、年度内の研修計画で権利擁護など行っていきたくと考えています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学の対応時、初回の面談時、契約時にご説明や不安な点等尋ね、理解、納得を図っています。また、入居後も相談があった場合には丁寧にご説明しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様からは運営推進会議の際や、来訪時等に、お客様からは日々の生活の中で意見や要望をお聞きし、内容を精査した上で出来るところから実施しています。	家族からの意向や要望については、面会に訪れた際やケアプラン更新時に確認しています。利用者本人の意向や要望については職員が日常会話から収集し、リビングの座席の配置を変更する等の取り組みにつなげています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の業務中や申し送り等で提案や不安な点の相談を聴取し、業務改善に生かしています。業務のタイムスケジュールや役割分担などは、スタッフの意見を取り入れています。	3ヶ月に一度管理者は職員と面談する機会を設けており、職員からの意向や要望を定期的に確認しています。業務や支援の見直しについても毎月のミーティング時に意見等を確認し必要に応じて見直しを行っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常勤希望者には労働条件の変更をしていますが、非常勤スタッフは出来る限り出勤日数を希望通りにして、個々の条件にそぐえるようにしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一同に集まる研修は年に数回しかありませんが、技術的なものはプリントで配布し、知識の入れ知恵をしています。当社他施設で行われた「認知症サポーター研修」6名参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム連絡会に出席し、様々な助言を頂いています。今年度は市民祭りにブースを出し、運営に参加しました。		

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初段階で出来る能力や逆に不安に感じている事、○○したい等の要望を把握し、安心して生活を送って頂けるように関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初段階で出来る能力や逆に不安に感じている事、○○したい等の要望を把握し、安心して生活を送って頂けるように関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	可能な限り、面会に来て頂くように要望しており、本人だけではなくご家族様にも協力を頂き、本人にとってより良い対応に努めており、状況次第では他のサービスを紹介しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る能力(炊事や掃除、片付けなど)は発揮して頂くように支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会も多いので、意見を反映しながら今後も信頼関係を築けるようにしていきたいと思います。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出、外泊は原則自由です。入居前からのかかりつけの病院や理髪店に行く方もいます。夏と冬には外部の会場を利用し、ご家族との交流の場を設けております。	利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないような支援では、入居前から通っていた地域の高齢者の会に継続して参加できるように支援する等、これまでの関係性の継続に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	カラオケやレク、散歩などで孤立せず過ごせるよう職員も介入しながら対応しています。		

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されたお客様ご家族に、入居中の写真を送り入居中の生活ぶりなどをお話しました。また退居後の生活やサービスの利用状況などをお聞きし、可能な限り助言をしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	計画作成担当者を中心に担当者会議やケース検討会議で把握するように努めています。また日々の暮らしの中でこんな事があった等申し送り等を通じ、情報の共有に努めている。	利用者の思いや意向については日常会話からの収集のほか、ケアプランの作成および更新時のアセスメントにおいて確認しています。抽出した思いや意向、課題等についてはケアプランに反映し日々の支援で反映できるように取り組んでいます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	計画作成担当者がお客様及びご家族にヒヤリングをし把握に努めております。また現場スタッフとお客様ご本人との会話からも情報収集をしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	計画作成担当者がお客様及びご家族にヒヤリングをし把握に努めております。また現場スタッフとお客様ご本人との生活の中からも情報収集をしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネが中心となりスタッフやご家族様、医療関係者の意見を反映しながら作成しています。	アセスメントにおいて利用者の現状及び課題を抽出し、アセスメントで得た情報を基に担当者会議において利用者、職員から意見を収集し、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランの状況は毎月モニタリングを行い、目標の達成度を確認しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は個人記録に記載しています。その記録を基に、事務方を含め情報共有をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自サービスに加え、訪問医療、訪問歯科医療、マッサージなどと協力しながら取り組んでおります。		

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩や買い物で地域へ足を運んでいます。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、歯科は往診が可能です。提携医療機関より月に2回程度来訪し、相談にのっています。	提携先の医療機関による往診が月に2回あり、定期的に主治医の診療を受けられる体制を築き必要な医療を受けられる体制としています。提携先医療機関とは常時連絡が取れる体制であり、緊急時も迅速に対応しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	内科、歯科は往診が可能です。提携医療機関は常に連絡が取れ、助言を受けられる体制があります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	希望者に関して定期往診があります。往診が無い日で状況の変化が表れた場合等、報告・相談を密にし、対応に関して協議し状態の悪化防止に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在終末期の方がいないため、看取り取り組みはしていません。今後、状況、状態により重度化、終末期への変化があった場合、ケアの対応について関係各位を交えて話し合う場を設けベストな対応を行いたいと考えています。	重度化や終末期の方針に関しては、契約時において方針を説明し、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有しています。重度化が見られる場合は、家族や主治医と再度話し合いを行い、今後の方針を検討し支援していく方針としています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフの研修で緊急時の対応を実施します。今後も実践力を身に付けられるように工夫します。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	11月に所轄の消防と避難訓練を実施しました。今年度2回目は3月を予定しています。	平成29年11月と平成30年3月(予定)に避難訓練を実施しています。訓練では火災想定し通報、消火、避難訓練を実施し、今後は近隣住民にも声をかけ合同での実施を目指しています。備蓄品については職員からの意見も取り入れ順次準備を進めています。	近隣の住民との連携もより密に図り災害時において相互の協力体制が得られることを期待します。

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	マナーは都度啓蒙し、お客様にとって不快に思われないように努めています。また拠点研修を通じて、認知症の方を理解することにより適切な声かけを学習しております。	ホーム内で実施した「認知症」をテーマとした研修の中で、職員の「笑顔」を大切にしていることを再認識し、利用者に対して不適切な対応にならないように全体で意識して取り組んでいます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人のペースや日々の状態の変化に合わせてやりたいことがご自身で決められるようなお声かけを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフの導線上、食事時間と入浴時間は定めているが、その他の時間に関しては、自由に楽しんで頂いたり、お客様ご自身のペースや希望に合わせたゆとりを持たせています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝整容介助をしています。また、定期的に訪問整容を入れていきます。朝の更衣時には着たい服をお尋ねするなど好みを反映できるようにしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に調理をする方はいませんが片付けや食器洗いは一部の方をお願いしております。また希望を取りつつ献立の作成をしています。	利用者の状態を考慮しながら、食事の準備や後片付けにも利用者がかかわれるように支援しています。食事を楽しむ工夫では、麺類など利用者のリクエストをメニューに取り入れたり週に一度のパン食やおやつ外食などにも出かけ楽しみにつなげています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食生活や禁食を考慮しつつ支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助が必要な方は毎食後実施しています。また、訪問歯科の無料検診を行い、ケアが必要な方には定期的に訪問歯科を入れています。		

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	お一人おひとりのパターンや週間を考慮し、出来る限りトイレでの排泄を促しています。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌内の所定欄に排泄に関する記録を残しています。利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	人によりサプリや下剤を飲んでいますが、食事や水分、体操等で予防に努めています。現在は便秘の方はいません。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は2日に1回以上は入浴できる環境を整えています。その方の好みに合わせた時間設定も可能な限り実施しています。	利用者の体調を考慮し週に3回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき安全に入浴できる体制とし、季節に合わせてゆず湯などの実施を通じて入浴の楽しみにつなげています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の入眠パターンを把握し、快適に休んで頂けるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時、薬剤師も同行し、お客様へ説明しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩や夜の外出ツアーと題し、外出支援を行いました。また、歌等ご希望に沿った形で楽しんでいただけるよう今後も工夫をしたいと思います。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	同上。今年度はご家族同行の外出行事は未実施です。	天候の良い日には嗜好品の買い物に近隣のスーパーまで出かけたたり近隣の神社への初詣、都内観光名所までの外出なども行っています。また家族の方と遠方まで旅行に出かけたり、親族の結婚式にも参加しています。	

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	社の規定により原則事務で一括管理をしていますが、買物時は同行する職員に預け、買物をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を書く機会はないが、本人や家族のご希望で電話をしたり取り次いだりする事は行っています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各部屋の入口にお名前にプレートを貼り(一部拒否の方はなし)混乱しないようにしています。また和室、掘りごたつ等快適なハード面にもなっています。	共用の空間は、ご利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮しています。行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間でひとりになれるスペースはありませんが、お客様同士思い思いに過ごせるよう配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	原則、火災につながるものの持込は禁止しているが、その他の持込品については危険が無ければ原則自由であり、馴染みの物をご持参頂いています。ご本人様の要望に応じ、入居後も必要な品物を購入することも可能です。	居室は、ご利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものの持ち込みを可能とし、ご利用者が居室内でも居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	館内は、バリアフリーの設計。お客様の安全を確保しながら、自立した生活が送れるようになっています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292500178		
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート南流山 (2階)		
所在地	千葉県流山市大字木312		
自己評価作成日	平成30年1月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成30年1月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>平成26年4月に開設し、平成27年12月よりユニット2を開設、平成29年5月に満床となる。前任者より引き継ぐ「わ」を紡ぎ繋げますをコンセプトに、いつも笑顔があり、その方らしさを大切に、安心で安全で地域と繋がり、ご家族や馴染みの方と一緒に健やかな暮らしが出来る施設を目指しております。夏と冬にお客様ご家族も呼びびた「納涼祭」や「クリスマス会」などを開催し、ご家族や入居頂いているご家族間の交流も図りました。また外出行事を企画し、社会との接点も保つことを実施しました。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>利用者も満床になり、各ユニット利用者の笑顔も多く、職員との関係も良好であり、馴染みの関係が築かれています。今年度実施した納涼祭やクリスマス会においては、利用者及び家族数の増加もあり、駅前のホールを貸し切り実施しています。両行事共に多くの家族の参加があり盛大に実施することができ、利用者、家族が貴重な時間を過ごすことができました。また、開設4年目を迎える中で、地域とのつながりも徐々に強くなり、民生委員から地域情報を収集することもでき、今年度は地域の総合防災訓練への参加や小学校の運動会の見学などにも出かけることができ、地域との交流も年々充実しています。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「わ」を紡ぎ繋がります。という理念を策定し、拠点会議を通じてスタッフと共有し、常に実践するための具体的な行動を話し合っています。	会社の社是、心得、経営理念の揭示のほか、「わ」を紡ぎ繋がりますをホームのスローガンに掲げ、5つの輪を大切に支援の実践に向け、職員間で共有し取り組むことができています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区の小学校の運動会の見学に出掛け、一部の児童さんとの交流を行いました。今後は地域の総合防災訓練や職業体験の場などとして交流をはかっていきます。	民生委員の方が自治会の役員を務めていることもあり、地域の情報を収集することができ、地域の総合防災訓練の参加につなげています。小学校の運動会の見学などにも出かけ、多くの方と交流できるように努めています。	地域関係者との交流もあり、知池行事への参加も増えてきていますが、今後に向けてもこれまで築いてきた地域との連携を活かし、より充実した交流が図られることを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護相談といった部分でのお問い合わせを頂いています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所、地域包括支援センター、民生委員、提携医療関係者、ご家族の参加を頂き、助言を頂いています。事故が発生した際の報告や対応に関しては評価を頂いています。	会議には民生委員、家族代表者、市の介護保険課と地域包括支援センターについては交互の参加を受け、利用者やホームの現状報告のほか、参加者との意見交換を通じてサービス向上に繋がっていくように努めています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の報告が主になりますが、助言を頂いたりして、関係構築に取り組んでいます。他の地域からご家族の元に転居してきて当施設に入居する際など、市役所へ相談している。	市の介護保険課の担当者もホームの運営推進会議に地域包括支援センターと交互で参加しておりホームの状況や課題等を共有することができます。また、運営上相談事が生じた際にも市へ連絡を入れ指示を仰いでいます。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	採用時のオリエンや毎年の研修計画に入れスタッフに説明しています。玄関の施錠は行っていますが、それ以外は当事業所においては実施例はありません。	ホーム内部で身体拘束廃止や虐待防止についての研修を実施し、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいます。現状ホーム内では身体拘束につながる事例は発生していません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	採用時のオリエン及び毎年の研修計画に入れ④スタッフに説明しています。		

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今年度は未実施ですが、年度内の研修計画で権利擁護など行っていきたいと考えています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学の対応時、初回の面談時、契約時にご説明や不安な点等尋ね、理解、納得を図っています。また、入居後も相談があった場合には丁寧にご説明しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様からは運営推進会議の際や、来訪時等に、お客様からは日々の生活の中で意見や要望をお聞きし、内容を精査した上で出来るところから実施しています。	家族からの意向や要望については、面会に訪れた際やケアプラン更新時に確認しています。利用者本人の意向や要望については職員が日常会話から収集し、リビングの座席の配置を変更する等の取り組みにつなげています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の業務中や申し送り等で提案や不安な点の相談を聴取し、業務改善に生かしています。業務のタイムスケジュールや役割分担などは、スタッフの意見を取り入れています。	3ヶ月に一度管理者は職員と面談する機会を設けており、職員からの意向や要望を定期的に確認しています。業務や支援の見直しについても毎月のミーティング時に意見等を確認し必要に応じて見直しを行っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常勤希望者には労働条件の変更をしていますが、非常勤スタッフは出来る限り出勤日数を希望通りにして、個々の条件にそぐえるようにしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一同に集まる研修は年に数回しかありませんが、技術的なものはプリントで配布し、知識の入れ知恵をしています。当社他施設で行われた「認知症サポーター研修」6名参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム連絡会に出席し、様々な助言を頂いています。今年度は市民祭りにブースを出し、運営に参加しました。		

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初段階で出来る能力や逆に不安に感じている事、○○したい等の要望を把握し、安心して生活を送って頂けるように関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初段階で出来る能力や逆に不安に感じている事、○○したい等の要望を把握し、安心して生活を送って頂けるように関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	可能な限り、面会に来て頂くように要望しており、本人だけではなくご家族様にも協力を頂き、本人にとってより良い対応に努めており、状況次第では他のサービスを紹介しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る能力(炊事や掃除、片付けなど)は発揮して頂くように支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会も多いので、意見を反映しながら今後も信頼関係を築けるようにしていきたいと思います。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出、外泊は原則自由です。入居前からのかかりつけの病院や理髪店に行く方もいます。夏と冬には外部の会場を利用し、ご家族との交流の場を設けております。	利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないような支援では、入居前から通っていた地域の高齢者の会に継続して参加できるように支援する等、これまでの関係性の継続に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	カラオケやレク、散歩などで孤立せず過ごせるよう職員も介入しながら対応しています。		

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されたお客様ご家族に、入居中の写真を送り入居中の生活ぶりなどをお話しました。また退居後の生活やサービスの利用状況などをお聞きし、可能な限り助言をしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	計画作成担当者を中心に担当者会議やケース検討会議で把握するように努めています。また日々の暮らしの中でこんな事があった等申し送り等を通じ、情報の共有に努めている。	利用者の思いや意向については日常会話からの収集のほか、ケアプランの作成および更新時のアセスメントにおいて確認しています。抽出した思いや意向、課題等についてはケアプランに反映し日々の支援で反映できるように取り組んでいます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	計画作成担当者がお客様及びご家族にヒヤリングをし把握に努めております。また現場スタッフとお客様ご本人との会話からも情報収集をしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	計画作成担当者がお客様及びご家族にヒヤリングをし把握に努めております。また現場スタッフとお客様ご本人との生活の中からも情報収集をしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネが中心となりスタッフやご家族様、医療関係者の意見を反映しながら作成しています。	アセスメントにおいて利用者の現状及び課題を抽出し、アセスメントで得た情報を基に担当者会議において利用者、職員から意見を収集し、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランの状況は毎月モニタリングを行い、目標の達成度を確認しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は個人記録に記載しています。その記録を基に、事務方を含め情報共有をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自サービスに加え、訪問医療、訪問歯科医療、マッサージなどと協力しながら取り組んでおります。		

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩や買い物で地域へ足を運んでいます。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、歯科は往診が可能です。提携医療機関より月に2回程度来訪し、相談にのっています。	提携先の医療機関による往診が月に2回あり、定期的に主治医の診療を受けられる体制を築き必要な医療を受けられる体制としています。提携先医療機関とは常時連絡が取れる体制であり、緊急時も迅速に対応しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	内科、歯科は往診が可能です。提携医療機関は常に連絡が取れ、助言を受けられる体制があります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	希望者に関して定期往診があります。往診が無い日で状況の変化が表れた場合等、報告・相談を密にし、対応に関して協議し状態の悪化防止に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在終末期の方がいないため、看取り取り組みはしていません。今後、状況、状態により重度化、終末期への変化があった場合、ケアの対応について関係各位を交えて話し合う場を設けベストな対応を行いたいと考えています。	重度化や終末期の方針に関しては、契約時において方針を説明し、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有しています。重度化が見られる場合は、家族や主治医と再度話し合いを行い、今後の方針を検討し支援していく方針としています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフの研修で緊急時の対応を実施します。今後も実践力を身に付けられるように工夫します。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	11月に所轄の消防と避難訓練を実施しました。今年度2回目は3月を予定しています。	平成29年11月と平成30年3月(予定)に避難訓練を実施しています。訓練では火災想定し通報、消火、避難訓練を実施し、今後は近隣住民にも声をかけ合同での実施を目指しています。備蓄品については職員からの意見も取り入れ順次準備を進めています。	近隣の住民との連携もより密に図り災害時において相互の協力体制が得られることを期待します。

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	マナーは都度啓蒙し、お客様にとって不快に思われないように努めています。また拠点研修を通じて、認知症の方を理解することにより適切な声かけを学習しております。	ホーム内で実施した「認知症」をテーマとした研修の中で、職員の「笑顔」を大切にしていることを再認識し、利用者に対して不適切な対応にならないように全体で意識して取り組んでいます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人のペースや日々の状態の変化に合わせてやりたいことがご自身で決められるようなお声かけを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフの導線上、食事時間と入浴時間は定めているが、その他の時間に関しては、自由に楽しんで頂いたり、お客様ご自身のペースや希望に合わせたゆとりを持たせています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝整容介助をしています。また、定期的に訪問整容を入れていきます。朝の更衣時には着たい服をお尋ねするなど好みを反映できるようにしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に調理をする方はいませんが片付けや食器洗いは一部の方をお願いしております。また希望を取りつつ献立の作成をしています。	利用者の状態を考慮しながら、食事の準備や後片付けにも利用者がかかわれるように支援しています。食事を楽しむ工夫では、麺類など利用者のリクエストをメニューに取り入れたり週に一度のパン食やおやつ外食などにも出かけ楽しみにつなげています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食生活や禁食を考慮しつつ支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助が必要な方は毎食後実施しています。また、訪問歯科の無料検診を行い、ケアが必要な方には定期的に訪問歯科を入れています。		

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	お一人おひとりのパターンや週間を考慮し、出来る限りトイレでの排泄を促しています。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌内の所定欄に排泄に関する記録を残しています。利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	人によりサプリや下剤を飲んでいますが、食事や水分、体操等で予防に努めています。現在は便秘の方はいません。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は2日に1回以上は入浴できる環境を整えています。その方の好みに合わせた時間設定も可能な限り実施しています。	利用者の体調を考慮し週に3回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき安全に入浴できる体制とし、季節に合わせてゆず湯などの実施を通じて入浴の楽しみにつなげています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の入眠パターンを把握し、快適に休んで頂けるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時、薬剤師も同行し、お客様へ説明しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩や夜の外出ツアーと題し、外出支援を行いました。また、歌等ご希望に沿った形で楽しんでいただけるよう今後も工夫をしたいと思います。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	同上。今年度はご家族同行の外出行事は未実施です。	天候の良い日には嗜好品の買い物に近隣のスーパーまで出かけたたり近隣の神社への初詣、都内観光名所までの外出なども行っています。また家族の方と遠方まで旅行に出かけたり、親族の結婚式にも参加しています。	

グループホームガーデンコート南流山(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	社の規定により原則事務で一括管理をしていますが、買物時は同行する職員に預け、買物をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を書く機会はないが、本人や家族のご希望で電話をしたり取り次いだりする事は行っています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各部屋の入口にお名前にプレートを貼り(一部拒否の方はなし)混乱しないようにしています。また和室、掘りごたつ等快適なハード面にもなっています。	共用の空間は、ご利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮しています。行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間でひとりになれるスペースはありませんが、お客様同士思い思いに過ごせるよう配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	原則、火災につながるものの持込は禁止しているが、その他の持込品については危険が無ければ原則自由であり、馴染みの物をご持参頂いています。ご本人様の要望に応じ、入居後も必要な品物を購入することも可能です。	居室は、ご利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものの持ち込みを可能とし、ご利用者が居室内でも居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	館内は、バリアフリーの設計。お客様の安全を確保しながら、自立した生活が送れるようになっています。		